

あなたと議会をむすぶ

議会広報
令和6年11月28日発行
第180号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町大字舞戸町字鳴戸321番地 編集…議会広報編集委員会 ☎0173-82-0906(直通)

この広報紙は、議員の自主編集で発行しています。



～ 赤カブの収穫 ～

立冬を間近に赤カブが収穫期を迎えました。南金沢町 工藤七重さんの畑では、大きく実った赤カブが次々と収穫されていました。工藤さんは赤カブを漬物にし、海の駅わんど内「あじ・彩・感」に出品しているとのこと。

令和6年11月6日

9月
定例会号

令和5年度決算

2～3

第3回定例会

4～5

一般質問

6～9

各常任委員会・決算特別委員会審議のようす

10

議会活動

11

はつらつチャレンジャー 町に活気を

12

鰺ヶ沢町議会ホームページへアクセス



鰺ヶ沢町議会

検索



QRコードは
こちらから

令和5年度
決 算各会計決算の
状況は

各会計決算状況

※決算額は万円単位（四捨五入）で表示しています

会 計 別		歳 入	歳 出	差 引 額	地方債（借金）残高
一 般 会 計		88億9717万円	83億7726万円	5億1991万円	99億9627万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	13億9843万円	13億2184万円	7659万円	—
	農業集落排水事業	1億6899万円	1億5073万円	1826万円	8億3233万円
	小規模水道事業	843万円	588万円	255万円	1255万円
	公共下水道事業	4億8296万円	3億9312万円	8984万円	23億3574万円
	墓地公園事業	85万円	78万円	7万円	—
	介護保険事業	15億8484万円	15億2032万円	6452万円	—
	後期高齢者医療	1億5988万円	1億5492万円	496万円	—
	水産業振興事業	4400万円	3058万円	1342万円	—
財産区特別会計		259万円	197万円	62万円	—

※財産区特別会計は、5財産区（北浮田、長平、浜横沢、中村、舞戸）の合計額となっています。

企業会計決算状況

※決算額は万円単位（四捨五入）で表示しています

水道事業	収 益 的 収 支			資 本 的 収 支		
	事業収益	事業費用	差 引 額	資本的収入	資本的支出	差 引 額
	2億6573万円	2億4913万円	1660万円	1億6704万円	2億8449万円	△1億1745万円
地方債残高 13億506万円（平成29年度から旧簡水特別会計と統合）						

※資本的収支不足額1億1745万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額556万円、当年度分損益勘定留保資金8354万円及び繰越利益剰余金処分額2835万円で補てん

一般会計主な事業

道路橋梁災害復旧事業費
3億3105万円廃棄物処理経費
4億2365万円物価高騰対策費
2億3725万円現地審査
（7月24日実施）決算審査
（7月18日～25日実施）

決算審査は、毎年度、町会計管理者等が提出した決算書類及び証書類などを、町長からの依頼により監査委員が審査します。町各担当から歳入・歳出項目毎に説明を求め確認、決算年度に実施した主な事業について、現地審査を行っています。監査委員はこの後に、決算審査意見書（5ページ）を作成しています。

監査委員による
決 算 審 査

令和6年
第3回
定例会会期
9月5日～10日学校給食無償化に関する
予算を含む補正予算案可決

令和6年第3回定例会が9月5日から10日までの日程で開かれました。本定例会には、議案35件、諮問1件、報告5件が上程されました。

6日の一般質問では、議員4名が資源ごみの収集について、町道の管理について、ハラスメントに対する町の取り組みについて、海の駅わんど周辺の観光への対応についてなどを町政へ問いました。（質問内容は6～9ページに掲載しています）

最終日には、9日の各常任委員会、決算特別委員会審査（内容は10ページに掲載しています）された議案等36件が本会議において審議の結果、原案どおり議決されました。

また、議員全員による発議として条例改正案1件が上程、議決され、選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われ、指名推選によりそれぞれ4名が決定しました。

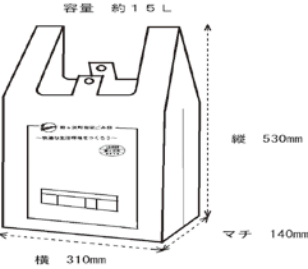
主な議案等は次のとおりとなっています。

▼町廃棄物の処理及び
清掃に関する条例の一
部改正

可決

町指定のごみ袋に特小サイズ（容量15リットル）を追加するためのもの。

新ごみ袋 特小サイズ イメージ



令和6年10月1日施行

▼令和6年度一般会計
補正予算

可決

一般会計予算は、歳入・歳出それぞれ2億999万7000円増額し、補正後の予算総額は87億4237万8000円となりました。

【主な歳入補正予算】

○増額

・児童手当等交付金（拡充分）
2590万5000円

・農業用施設災害復旧事業費補助金
1280万2000円

・児童手当等負担金（拡充分）
350万7000円

充分

・学校給食費無償化等子育て支援交付金
342万4000円

・新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業助成金
868万1000円

・前年度繰越金
1779万5000円

1億6273万

6000円

○減額

・小学校学校給食費負担金
573万3000円

・中学校学校給食費負担金
1295万7000円

・観光振興費（観光協会への補助等）
647万円

○減額

・農業用施設災害復旧費（令和4年発生農業用施設災害復旧事業）
647万円

・観光振興費（観光協会への補助等）
647万円

・児童手当等負担金（拡充分）
350万7000円

【主な歳出補正予算】

基金積立金

5143万3000円

定額減税補足給付金

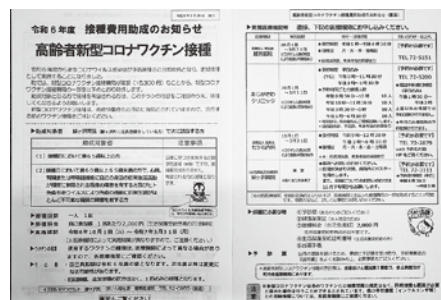
2028万3000円

児童手当等（拡充分）

3722万7000円

予防接種対策費（新型コロナウイルス予防接種）

1923万1000円

▼教育委員会委員の任命
同意

令和6年10月23日に任期満了となる教育委員会委員を任命することに同意するもの。

▽新任

滝 潤 安 弘 氏

佐 藤 恵 美 氏

(赤石町)

【任期】

令和6年10月24日から

4年

▼人権擁護委員候補者の推薦
適任

令和6年12月31日に任期満了となる人権擁護委員の候補者として推薦するにあたり、適任と判断するもの。

▽再任

今 郁 子 氏

(北浮田町)

【任期】

令和7年1月1日から

3年

選挙管理委員会委員を 選挙により決定

令和6年10月6日で任

▽再任

期満了となる選挙管理委

第4順位 工藤 茂則氏

員会委員及び補充員の選挙（指名推選）が行われ、次のように決定しました。任期は4年。

○選挙管理委員会委員
当選者

▽再任

須藤 壽氏

水口 清治氏
（南金沢町）

斉藤 透氏
（中村町）

▽新任

神文 人氏
（湯舟町）

○選挙管理委員会委員
補充員当選者

▽新任

第1順位 工藤 章彦氏

第2順位 吉田 諭大氏

第3順位 古川 泰正氏

ひとくち解説

選挙管理委員会委員とは、選挙権を有する者で、人格が高潔で、政治及び選挙に関し公正な見識を有する者のうちから、議会において選挙されます。補充員は、委員に欠員が生じたとき順位により補充されます。

指名推選とは、議会において行う選挙の一つで、議員全員に異議がない時に限られ行われます。指名される候補者も議員全員が同意した時に当選人となります。議員が1人でも選挙方法や指名される候補者に異議がある場合は、投票により改めて選挙することになります。

決算審査意見

監査委員 増田 晶夫
佐藤 昭司

「公金の取扱いは、それぞれの責務を
再確認し適正な処理を」



決算審査意見を述べる増田代表監査委員

把握と実態に即した適切な措置を講じ、未収金の解消に尚一層の努力を望むものである。

寄附金のうち、あじがさわ未来応援寄附金は、前年度に比べ2232万7000円減の2億9036万4000円となっており、寄附者の意思を尊重しながら、地域振興につな

がる使途とされたい。

歳出についての増減は、新型コロナウイルス感染症対策費1億5763万7000円、災害支援費1億2319万1000円など減額となった一方で、令和4年8月の豪雨災害に伴う災害復旧費2億1140万3000円、清掃費2億421

2万7000円など増額となっている。

一般会計の起債残高は前年度末に比べ、1億8025万6000円減の99億9626万8000円で、特別会計及び企業会計を合計した全体では146億円を超えており、財政運営計画のもと、計画的な起債発行に努め、公債費に係る財政負担軽減に向けた努力を求めらるものである。

少子高齢化が進む当町

において、住民の安心・安全の確保や健康維持・増進施策、生きがいを感じることでできる取り組みなど行政の果たす役割はますます求められ、それに伴う支出の増加も見込まれることから、効率的で最適な行政サービスを提供できるよう、職員一丸となり、取り組んでいきたいと思います。

【要望】

補助金等の会計処理について
各種団体へ支出してい

る補助金等は公金であり、厳正な会計処理が求められる。事業の目的、効果を勘案し、補助金等の検証・見直しや交付先団体等との調整並びに適正な指導及びチェック機能の強化を図ってほしい。

公金の取扱いについて

服務規律を厳正に遵守し、それぞれの責務を再確認し適正に処理していただきたい。また、各課が管理している通帳、印鑑の保管並びに現金の出入状況等は、定期的に点検し、改善を要する場合は、早期に改善を進めてほしい。

町ホームページによる 情報発信について

町ウェブサイトや関連するポータルサイトについては、管理、更新の強化に努め、関連サイト同士をリンクさせるなど、更なる情報発信の向上を図ってほしい。



佐藤 薫議員

資源ごみの収集について

問・資源ごみの収集は、現在第1から第4まで地区ごとに指定の曜日が決められ、第5週の曜日は収集が行われていません。そのため、次の収集日まで各家庭において、ごみを置く場所の確保に苦慮している状況です。第5週の曜日も収集日として円滑な対応ができませんか伺います。



資源ごみの回収のようす

9月定例会では、4名の議員が質問しました。一般質問では町の行財政全般に関し町長の考えや、町の施政方針を問います。

第5週の曜日も資源ごみ収集の対応を 答へ開始時期等も含め検討している

答弁・中井総合窓口課長

令和4年4月からプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律が施行され、市区町村や製造販売事業者、排出事業者は、プラスチックの排出抑制や資源循環等の促進に取り組むことが法的に定められました。

昨年10月から当町では、町民のご理解とご協力の下、資源ごみの分別をより徹底し、資源循環等に取り組み、昨年度のリサイクル率が6%台から11%台まで約5ポイント上昇しました。分別の徹底に伴い、各家庭から出される特にプラスチック類等の資源ごみの収集量が大幅に増えたことから、今年1月から、資源ごみ



2週間分の資源ごみが出された集積所のようす

開始時期等も含め検討しています。

問・第5週も資源ごみの収集を行う場合、経費はどのくらい必要か伺います。

答弁・中井総合窓口課長
細かな精査は必要となりますが、現在の委託内容等を勘案するとトラック1台当たり約5万円、2台分で月約10万円以上の増額が見込まれています。

問・町内会の一部から要望があったと聞いています。早期に対応してほしいとの思いが強くありますが、町長の考えをお聞かせください。

答弁・平田町長

町でも再度調査し、検討の時間をいただきます。

意見・可能な限り早い段階で調査し、住民の利便性向上のため、早期の実施を要望いたします。

※佐藤議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆公立中学校の部活動の地域移行について

問教員の負担軽減と地域の連携を強化するための取り組みとして、来年度が改革推進期間の最終年度となっております。現在までの取り組み状況と、今後の対応を伺います。

の地域移行に係る検討委員会設置要綱を制定し、7月に第1回検討委員会を開催しています。引き続き開催を予定している検討委員会で、地域移行に係る課題と対策を整理していきたい。

問指導者や施設の確保、県内外の大会に参加する場合の遠征費等の課題があると認識していますが、検討会議でどのように進めていくのか伺います。

答課題として、各家庭の部活動の費用、送迎などの負担が増える可能性、指導者や活動場所の確保が難しいケース、また、指導者には技術的なレベルだけではなく生徒との接し方の配慮などが必要になってくる場合もあると考えています。教育委員会としても非常に難しい問題と捉え、課題の解決に向けて学校、地域と情報を共有し、しっかりと話し合いながら進めていきたい。



木村 光義議員

町道の管理について

問・町道の舗装が大分傷んでいるが、管理について、どのような対策を行っているのか。

答弁・工藤建設水道課長

町管理の町道は、全体で35.8路線、194.8kmに及んでいます。大部分がアスファルト舗装であり、アスファルト舗装の耐用年数は、様々な条件がありますが、およそ10年から15年程度とされています。町では、耐用年数が過ぎた道路が数多く存在し、随時穴埋めや道路改良補修を行っています。

また、町の財政状況を鑑みながら、国の制度である社会資本整備総合交付金事業などを活用し、



町が順次行っている支障木の伐採（左）と道路の穴埋め（右）のようす

優先順位をつけながら、随時道路改良補修を行っています。

町道、ガードレールの傷みなどへの対策は 答へ優先順位をつけ随時補修を行っている

問・ガードレールに曲がりや、さびが見受けられるが、今後の対策は。

答弁・工藤建設水道課長

町では、ガードレール等の修繕や設置に関して、毎年、交通安全施設整備事業で予算化し、順次修繕等を実施しています。

しかし、町道のエリアを全て修繕等実施できているわけではなく、限られた予算の中で順次実施しています。

問・道路に覆い被さっている木について、今後の対策は。

答弁・工藤建設水道課長

町管理の町道と一体化している道路の法面に生えている雑木に関し、町が自前で処理している部

分と、自前でできない部分に関しては業者委託し、処理しています。

しかし、町道の範囲が広く、全て処理しきれない場合もありますので、バス路線と通学路線を優先し行っています。

また、民地部分などに関しましては、町が勝手に処理できないため、所有者と協議し、所有者責任で処理いただくようお願いしています。県道部分に関しては、鯉ヶ沢道路河川事業所をお願いをし、対処していただいています。

※木村議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆イノシシの駆除について

問現在の対策は。

答鳥獣による農作物への被害のうち、イノシシによるものと思われる被害が数件通報されています。その対策としては、被害が発生した農地周辺にわなを設置し捕獲するという方針で、箱わな、いわゆる檻おりによる仕掛けでの捕獲を試みている

は、

か、設置した檻の近くに監視カメラも設置して、イノシシの生態の把握ができればと思っています。それにより、有効なわなの設置方法について検討していきたい。

問イノシシの捕獲には箱

わなを実施しています。が、そのほかに括りわなという手法もあります。これは、主に林の中で木に括りつけるわなで、イノシシが頻繁に通る道筋が分かれば設置するというものでありますので、先ほどのカメラなどの映像と、目撃情報などを収集した上で、どういうところを設置すれば効果があるかということについて、専門家のアドバイスも受けながら試みていきたい。



イノシシが荒らしたと思われる田んぼのようす



菊谷 忠光議員

町のハラスメント防止策と取り組みは 答へ防止に向けた環境づくり等を行っている

ハラスメントに対する町の取り組みについて

問・職員へのハラスメント防止策として、どのような取り組みをしているか伺います。

答弁・神総務課長

町では、ハラスメント問題が生じたときの対応、ハラスメント防止及び排除のために、平成31年2月に鯉ヶ沢町職員のハラスメント等の防止に関する要綱及び同要綱に基づく指針を策定しています。また、庁内で管理職、中堅職員を対象に、ハラスメント防止に関する研修を行うなど、ハラスメントについて正しい理解、防止に向けた環境づくり、意識の向上を図っています。



ハラスメント防止に関する研修のようす

問・相談体制の整備について伺います。

答弁・神総務課長

ハラスメントの内容は多様であり、各課での解決が難しい場合や、上司に相談しにくい場合も考えられるため、総務課の人事担当を相談窓口としています。

答弁・神総務課長
職員のメンタル不調を未然に防止すること・ストレスへの気づきを促すこと、また職場環境の改善を目的として、会計年度任用職員を含む全職員を対象に、年1回ストレスチェックを実施しています。これは、ストレス

ラスメント対策委員会を設置して、関係者から事情聴取及び事実確認を行い、町長に報告します。町長は報告内容に応じて、しかるべき措置を講ずることとなっています。

問・実態調査とストレスチェックについて伺います。

答弁・神総務課長

問・ハラスメントと思われる事案が発生した場合、どのように対処するのか伺います。

答弁・神総務課長

職員から相談があった場合、相談窓口である総務課人事担当で、プライバシー厳守と不利益な取扱いはいらない旨を説明し、また必要に応じて第

三者の相談員を配置するなどして、相談記録を作成します。

次に、関係者から事情聴取で事実関係の確認を行い、関係者等に対する助言等により問題の解決を図ります。問題解決が困難であると判断した場合は、ハラスメント対策委員会を設置し、調査を行い、町長に報告します。報告結果によって懲戒処分を含む措置を行うこととしています。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆ライドシェアについて

問 随々に全国へ広がっているが、町はどのような考えを持っているのか。

答 日本版ライドシェアは、タクシーが不足する地域、時期、時間帯を限定して、タクシー事業者の管理の下で自家用車、

一般ドライバーを活用する運送サービスが今年4月から始まりました。当町においても、時間帯による交通空白が生じ、不便の声があることも承知していますので、全国の事例等を検証し、国の方向性を見極めながら、慎重な議論が必要と考えています。

問 当町にあつては、夜9時以降の交通手段が皆無で、観光客はもちろん、深夜の救急搬送の付き添いの後、自宅に帰る手段がなく、不便と感じる町民が多い中、これらを解消するため、町として考えがあるのか。

答 タクシー事業者の人員不足と利用者の減少により、夜9時以降タクシー運行を休んでいると伺っています。今後、ライドシェアを含めて事業者等と対応策を協議していきたい。



菊谷 尚久議員

海の駅わんど周辺の観光への対策について

問・昨年まで年3回、食フェスが行われ、旬のものを旬の時期に提供し、春夏秋と鰯ケ沢に来ていただき、鰯ケ沢を味わってもらおう非常によい企画だと思っていました。



10月6日行われた、あじがさわグルメフェス2024

食フェスを食材ごとの旬の時期に行っては 答へ今年度の実施状況により検討していく

答弁・三上企画観光課長

食フェスは町産品を活用した食イベントの開催により、外貨獲得や地域内の流通を促進し、生産者及び飲食店事業者の所得向上を目的に実施してきました。令和元年から実施し、これまでのにぎわいと売上状況を見ますと、町産品の認知度向上と価値向上、地域の活性化につながっているものと評価しています。また、今年1回になった

た経緯は、今年度6年目ということで少し趣向を変え、三つのフェスを一つにまとめて、魚も肉もスイーツも全て一度で満喫できるようにと、大々的に実施するものです。町が実施する回数は減りますが、ほかにも海の駅わんどで実施するフェアや特別セール、また11月3日に行うスイーツ&クラフトフェス、町商工会で実施するイカのカーテンまつりなど、町の特

産品やグルメのPR、販売促進等、民間の活動に對して、町として積極的な応援し、来町者の増加、地域活性化を図っていきたいと思っています。

問・旬のものを旬の時期に提供するのが基本です。ヒラメは、9月から

10月にかけて、鰯ケ沢の海は網が入っていないので、業者の方々も、ヒラメが揚がらない時期に漬け丼を作ること、食材の手配が非常に厳しい。深谷の栗は、収穫が9月から10月末までかかり、十分な量が出せるのかどうか、かなり難しい。なぜ10月に開催するのか。来年も10月に行うのか。以前のような年3回のフェスは行えないのでしょうか。

答弁・三上企画観光課長

9月にイカのカーテンまつりが、11月にはスイーツ&クラフトフェスがあります。11月のプレも兼ねて10月に開催することになっています。また来年度は、今回の実施状況を見ながら、開催時期を検討したいと考えています。

※菊谷議員は、このほかにも次のような質問をしています。

◆農林水産業の振興について

問町がブランド候補として特に重要と位置付ける産品は何で、どのようなPRや付加価値向上に向けた取り組みを行っているのか伺います。

答特に力を入れているのは、赤石川の金のアユ、幻の魚イトウとしてブランド化し、白神山地の恵みを受けた産品としてPRしているところです。



白神山地の恵みとしてPRされているイトウ

問春季の重要産品と考えるヒラメとアスパラガスについて、町としての支援方針を伺います。

答鰯ケ沢沖で町と漁協による稚魚放流を実施し、漁獲量の確保を目指しているところです。

アスパラガスは、農協による支援が厚くされているほか、町としても、転作をしたいという方には助成の支援、新規就農の取り組みに対する支援にも力を入れて、生産量増大を図っています。

常任委員会・決算特別委員会の審議

9月9日

第3回定例会では、議案を各常任委員会（総務文教常任委員会、産業建設常任委員会）に付託し審議、令和5年度一般会計歳入歳出決算案は、議員全員による決算特別委員会（菊谷忠光委員長）を設置し詳しい審議を経て、本会議で決定されました。常任委員会、決算特別委員会で審議された内容を一部抜粋してお知らせします。

総務文教常任委員会



総務文教常任委員会のようす

担を2000円いただき65歳以上の方を対象に町内医療機関で個別接種を考えています。

【現行の健康保険証廃止後の対応について】

問（佐藤薫委員） 現行の健康保険証は12月2日までとなります。マイナ保険証に移行後、これに代わる資格確認書について、自動的に住民に届くのかお知らせください。

【新型コロナウイルスワクチン接種について】
問（佐藤薫委員） 接種開始時期、実施する医療機関、個人負担等をお知らせください。

答（一戸ほけん福祉課長） 国からワクチンの値段が1万5300円と示されていますが、自己負

決算特別委員会



決算特別委員会のようす

保険証に代わる資格確認書が届き、2年目以降は手続が必要になる場合があるということです。相談、問合せもあると思いますので、体制づくりの強化をお願いします。

【町民税の収入未済額について】

問（田中委員） どういう対応を行っているか、お知らせください。

答（中井総合窓口課長） 未納者を早期に把握し電話での催告、臨戸訪問、徴収を実施しています。また滞納整理組合や県税事務所と連携を図り、滞納者の収入状況等の把握に努めています。

【令和4年8月の大雨災害に係る記録誌について】

問（佐藤薫委員） 昨年9月の常任委員会で担当課長から100部程印刷して関係機関等に配布してくれろという回答がありました。その後の状況をお聞かせください。

答（三上企画観光課長） 昨年の9月補正で記録誌100冊を印刷するということでしたが、庁内で検討し本で出すよりもデータで誰でも見られるようにホームページで公開した方がいいのではな



町ホームページ上で公開されている災害記録誌

いかということになり、今年8月末にデータが完成しホームページで公開したところであり。紙による記録誌を作成する予定はありません。

【小中学生への県内外スポーツ大会出場に係る助成について】

問（齋藤委員） 小学校では部活を行わなくなり、中学校もその方向になるようですが、今後、部活がなくても助成できるのですか。

答（阿彦教育長） 今まで出ていたいろいろな支援のお金も含め、検討してまいりたいと思います。

【要望（齋藤委員）】 遠い場所に遠征する場合、選手親御さんの個人負担が多くなります。今までどおり町で支援をしていく



という方向で決めてもらえれば、子ども達の励みにもなりますので、しっかりした方向付けをしてこれから考えてください。

【光信公の館トイレ改修事業について】

問（須藤委員） 工事内容をお聞かせください。

答（神社会教育課長） これは、光信公の館のトイレを水洗化した工事となっています。

問（須藤委員） 駐車場にある公衆トイレについても工事が入ったのですか。

答（神社会教育課長） 令和6年度で行います。

正副議長・各種常任委員長・ 議会運営委員長・事務局長研修会



研修会のようす

10月22日、青森県労働福祉会館（青森市）において、正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長・事務局長研修会が行われ、田中亨議長、須藤一副議長、神孝議会運営委員長、菊谷忠光総務文教科常任委員長、木村公紀事務局長が出席しました。

講師には、東京都立大学教授の山下祐介氏が招かれ、「人口減少時代における地方創生」と題しての講演がありました。山下氏は、始まってから10年になる地方創生について、政府が報告した検証を少子化対策や地方移住等の観点から詳しく話していました。

久慈市産業建設委員会行政視察 洋上風力発電事業の現状について



町役場で行われた意見交換会のようす

10月28日、当町議会と友好交流協定を結んでいる久慈市議会の産業建設委員会6名が、行政視察のため来町しました。

この日は、当町の洋上風力発電事業の現状について、当町議会から田中亨議長、産業建設常任委員会齋藤孝夫委員長外委員4名も同席し、町担当者からの説明を受けた

後、意見交換会を行いました。委員からは「事業者選定が行われた後、津軽港が整備され、洋上風力のほかにも積極的に港が活用されるようになればいい」「選定された事業者による地域振興策が地域にとって少しでもいいものであるといい」等の意見が出ていました。

第4回定例会の予定

議会日程は、議会運営委員会において正式に決定されます。

開会中は町役場1階町民ホールのモニターに、議会のようすが流れています。

開催日程、一般質問の議員氏名、質問事項については町防災無線、町ホームページでお知らせします。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

▼12月6日（金）

開会予定です

《開会後の日程は
次のとおりです》

▽12月9日（月）

一般質問

▽12月10日（火）

総括質疑

討論、採決、閉会

特集

はつらつ チャレンジャー

Vol.10 町に活気を



舞戸町 AsoBidoa (アソビドア)
代表 成田 怜央さん

舞戸町出身。

昨年2月、小中学校の同級生など30代5名で地元を盛り上げるため、AsoBidoaを結成。ティラノサウルスレースあじがさわ等町を盛り上げるためのイベントを開催している。



9月に大高山総合公園で行われたティラノサウルスレースのようす



Chill Timeあじがさわのようす

Q これからの目標などをお聞かせください。
A 私たちは、一人ひとりが主役になることを大

※Chill Timeとは：ゆつたりと落ち着ける時間、まったりとくつろげる時間をいう。

※Chill Timeとは：ゆつたりと落ち着ける時間、まったりとくつろげる時間をいう。

Q AsoBidoa (アソビドア) の由来は。
A 地元である鰯ヶ沢町をもっともっと楽しい町にしたい！地域活性化、地方創生を難しく考え過ぎず、遊びのように互いに楽しくそしてアソビのトビラを開ききつかけになるそんな存在であるように！と結成されました。

Q チームの構成は。
A 鰯ヶ沢出身の30代5名で、小中学校の同級生とその1人の先輩です。

Q 今までの活動内容を教えてください。
A 主なものとして、昨年10月にティラノサウルスレースあじがさわVol.1、今年6月にChill Time (チル

タイム) あじがさわ(コーヒー&キャンプ)、9月にティラノサウルスレースあじがさわVol.2を行いました。

ティラノサウルスレース(恐竜の着ぐるみを着

Chill Time (チルタイム) あじがさわは、ティラノサウルスレースの後、振り返った時に落ち着いたイベントを行いたい、手ぶらで来られるイベントをと思い、コーヒーを飲み、海を見ながらイベントを行うことを考えました。

切にし、面白いイベントを開催することで、鰯ヶ沢をできる範囲で盛り上げていきたい。

企画したイベントへ多くの方々にお越しいただき嬉しく思うと共に、イベントをきっかけに、町の見どころ、風景、そして、私たちの大好きなお店に立ち寄っていただき、沢山の魅力が多くの人に伝わる機会になればとの思いで活動が続けています。

この活動ができるのも、協賛いただいている企業様やボランティアスタッフの皆様のおかげだと思います。

これからも活動を楽しみながら、様々な挑戦をしていきますので、応援をよろしくお願いします。

皆さんも一緒に町を盛り上げてみませんか？

イベントを通し鰯ヶ沢を知ってもらい
町全体を楽しんでもらいたい

「はつらつチャレンジャー」10回目の今回は、AsoBidoa (アソビドア) 代表の成田怜央さんにお話を伺いました。

聞き手は、菊谷尚久広報委員です。